

令和5年度ハスモンヨトウの発生状況

作物名：ダイズ、野菜類、花き類

発生地域：県内全域

発生程度：多い

令和5年度のハスモンヨトウの発生量は過去10年で最も多く、令和5年9月13日に病害虫発生予察注意報第9号、9月28日に病害虫発生予察注意報第12号を発出した。

(1) 9月下旬にダイズほ場で実施した巡回調査（9地点16ほ場）において、本虫の寄生株率は28.4%（平年2.7%、前年1.3%）で、過去10年間と比較して最も高かった。

(2) 9月下旬にキャベツほ場で実施した巡回調査（9地点16ほ場）において、本虫の寄生株率は5.5%（平年0.3%、昨年0.1%）で過去10年間と比較して最も高かった。

(3) フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数（図）

- ・長久手市（露地畑ほ場）3,129頭（平年1,165頭、前年1,935頭）であり、過去10年間と比較して最も多かった（9月第1半旬から9月第5半旬までの総誘殺数、以下同じ）。
- ・豊橋市（ハクサイほ場）7,910頭（平年4,529頭、前年4,576頭）で、過去10年間と比較して最も多かった。
- ・田原市（キャベツほ場）1,401頭（平年560頭、前年1,212頭）で、過去10年間と比較して2番目に多かった。
- ・安城市（ダイズほ場）503頭（平年31頭、前年10頭）で、過去10年間と比較して最も多かった。

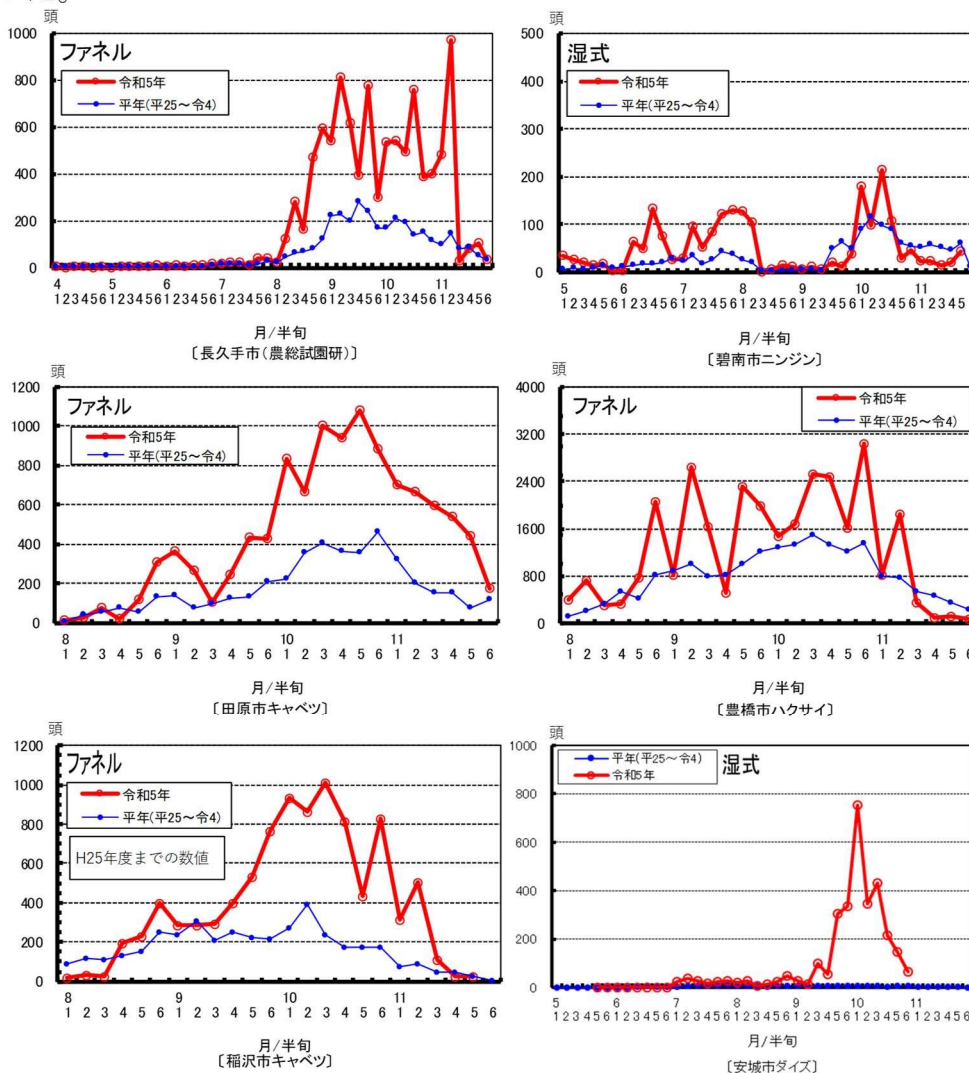


図 フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺数